

令和8年度 佐倉保育園防災教育及び訓練計画表

別表(5) 消火訓練は毎月行うものとする。

	災害想定(発生場所)	ねらい	訓練内容	避難場所	その他の訓練及び注意事項	消火訓練
4月	災害の啓蒙 9:45	・避難訓練の合図を知る。 ・訓練の必要性を知る。	・放送が流れ、避難訓練を知る。 ・非常時は保育者のそばにすぐに来ることを知る。	ホール	・緊急放送、消防計画や職員の分担の確認、点呼、人数確認を速やかに行う。 ・消火器の場所の確認 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日・15日)	消火器設置箇所の確認
5月	地震(中程度) 9:45	・地震時の避難方法を知る。 ・落下物に気をつける。	・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。 ・机の下に入る。落下物の無いところを確認し、身の安全を図る。 ・避難経路を2か所確保する。 ・窓を開け、カーテンを閉める。揺れがおさまったら、帽子をかぶり、避難する。	各保育室 から園庭へ	・火気使用中の器具の火災防止処置の確認をする。 ・戸を開放し、出入り口の確保をする。 ・落下物、転倒等の危険箇所の確認をする。 ・厨房内消火訓練をする。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日・15日)	消火器の機能の確認 (保育士)
6月	総合避難訓練 火災(事務所) 9:45	・火災時の避難方法を知る。 ・初期消火の重要性を知る。 ・総合訓練を実施する。 (通報、避難、消火訓練)	・放送を聞いて保育者のそばに集まる。 ・煙の怖さを知り、袖や手、ハンカチで口を覆う。 ・保育者の指示に従う大切さを知らせる。 ・「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」の約束をする。 ・職員との通報訓練をする。 ・避難経路を2か所確保する。 ・カーテンを開け、窓を閉め、排煙窓を開ける。	園庭から 仲田公園へ	・園児の動揺を鎮め、戸外に誘導する。 ・残留園児の確認をする。 ・重要書類の搬出訓練をする。	パケツリレーの消火訓練 (保育士)
7月	地震 9:45	・地震時の避難方法を知る。 ・地震から火災になることを知る。	【室内遊び時】 ・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。・避難経路を2か所確保する。 ・机の下に入る。落下物の無いところを確認し、身の安全を図る。 ・窓を開け、カーテンを閉める。揺れがおさまったら、帽子をかぶり、避難する。 【戸外遊び時】 ・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。 ・園庭の安全な場所に避難する。	園庭	【室内遊び時】 ・火気使用中の器具の火災防止処置の確認をする。 ・戸を開放し、出入り口の確保をする。 ・落下物、転倒等の危険箇所の確認をする。 【戸外遊び時】 ・固定遊具等で遊んでいる児をあわてず、安全に避難させる。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日)	消火器の機能の確認 (保育支援員)
8月	火災 (付近の住宅) 14:50	・午睡時の避難の仕方を知る。	・火災発生を知らせ、保育者のそばに集まる。 ・カーテンを開け、窓を閉め、排煙窓は開けない。 ・慌てて飛び出さず、落ち着いて状況を確認し、避難経路を見極める。	園舎内待機	・避難経路の安全及び役割分担の確認をする。 ・残留園児の確認をする。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日・15日)	給食室の初期消火訓練
9月	風水害 16:00	・ニュース情報を見たり聞いたりすることの大切さを知る。 ・助け合う心を養う。 ・非常食の大切さや内容を知る。	・身の安全を図る。 ・台風や集中豪雨等の話を聞き停電の話を書く。 ・すぐに帰れる身支度をしてホールに集まり、安心して待てるようにする。	玄関ホール	・非常時の必要物品の点検、確認をする。 ・保護者への引き渡し方法の確認をする。 ・非常食の試食 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(防災週間 8/30 9:00~9/5 17:00)	消火器の機能の確認 (保育士)
10月	総合避難訓練火災 (給食室より) 9:45	・総合訓練を実施し、消防署の指導を受ける。 (通報、避難、消火訓練)	・園児の避難訓練の指導評価を受ける。 ・職員との通報訓練をする。 ・避難経路を2か所確保する。 ・カーテンを開け、窓を閉め、排煙窓を開ける。 ・火の手が早いので急いで避難するが、保育者の指示を聞いて落ち着いて行動する。	各保育室 から園庭へ	・重要書類の搬出訓練をする。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日・15日)	消防署指導による消火訓練
	不審者の侵入 (午前)	・不審者侵入における避難の方法を知る。 (戸外遊び中)	・素早く不審者侵入を知らせる。 ・保育者の指示のもと園内に素早く入る。 ・不審者に対する注意を話し、身を守るための事柄を知る。	保育室	・放送により周知できないときは、臨機応変に連携を図る ・決められた合図で速やかに所定の場所へ避難する。 ・近くにいる職員間で伝言の訓練をする。	
11月	地震(中程度) (17:30)	・遅番保育時の避難の方法を知る。	・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。 ・机の下へ入る。落下物の無いところを確認し、身の安全を図る。 ・避難経路を2か所確保する。 ・窓を開け、カーテンを閉める。揺れがおさまったら帽子をかぶり、避難する。 ・担任以外の職員の指示を聞いて、避難する。 ・暗い中での安全確認や人数と名前の把握方法を再確認する。	園庭	・保育支援員と職員との協力体制の確認(指揮は当番職員) ・他の職員の応援体制の確認をする。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(1日・15日)	消火器の機能の確認 (保育支援員)
12月	地震(中程度) 午前中	・地震時の避難方法を知る。	【室内遊び時】 ・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。・避難経路を2か所確保する。 ・机の下に入る。落下物の無いところを確認し、身の安全を図る。 ・窓を開け、カーテンを閉める。揺れがおさまったら、帽子をかぶり、避難する。 【戸外遊び時】 ・地震発生を知り、保育者のそばに集まる。 ・園庭の安全な場所に避難する。	園庭	【室内遊び時】 ・火気使用中の器具の火災防止処置の確認をする。 ・戸を開放し、出入り口の確保をする。 ・落下物、転倒等の危険箇所の確認をする。 【戸外遊び時】 ・固定遊具等で遊んでいる児をあわてず、安全に避難させる。	一時保育室の初期消火訓練
1月	火災 (事務室より出火) 9:45	・いろいろな火災について知る。	・道路側外門より仲田公園へ避難する。(第2避難場所) ・避難経路を2か所確保する。 ・カーテンを開け、窓を閉め、排煙窓を開ける。	園庭から 仲田公園へ	・第2避難所へ安全に避難をする訓練をする。 ・人数確認の訓練をする。 ・漏電や感電等の話をし、危険な遊びやいたずらをしないように約束する。 ・災害用伝言ダイヤルの録音と再生(15日)	調乳室の初期消火訓練
2月	火災(近隣) (午前中)	・近隣で火災がおきた際の避難方法を知る。	・火災発生を知らせ、保育士のそばに集まる。 ・避難経路を2か所確保する。 ・カーテンを開け、窓を閉め、排煙窓は開けない。 ・近隣での火災のため、慌てないで保育者の指示に従い避難する。	各保育室 から園庭へ	・園児の動揺を鎮め、戸外に誘導する。 ・残留園児の確認をする。	給湯室の初期消火訓練
3月	地震(震度5)14:45	・地震の怖さを知り、基本的な行動を身につける。	・午睡中の避難方法を知る。 ・大きい揺れなので、できるだけ早く園庭に避難する。 ・布団を半分に折り、残留園児がいらないか確認する。 ・避難経路を2か所確保する。 ・窓を開け、カーテンを閉める。	ホール及び 各保育室 から園庭へ	・食糧飲料水の確保の確認と搬出 ・1年間のまとめとしてサイレンの音で速やかに保育者のそばに集まり話を聞く。	消火器の使い方の確認 (全職員)

*毎月2回171の伝言ダイヤルの訓練をする。